

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年7月3日～7月7日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
7月3日	ブルータンク等の移設状況の確認	G1南エリア 大型機器点検建屋北側(吸着塔保管施設(第4施設)南側)	<u>OG1南エリアの敷地整理に伴い、G1南エリアに設置しているブルータンク及びモバイル型ストロンチウム除去設備を大型機器点検建屋北側へ移設することから、作業状況を確認した。</u> <u>ブルータンク及びモバイル型ストロンチウム除去設備は、計画どおり移設が完了していることを確認した。</u> <u>なお、G1南エリアはタンクやコンテナがすべて撤去又は移設されており、重機で整地されていた。</u>	11時35分現在
7月4日	海側遮水壁の状況確認	4m盤	<u>○海側遮水壁として設置している鋼管矢板やその周辺の状況を確認した。</u> <u>全体を通して目視で確認した結果、特に異常は確認されなかった。</u> <u>鋼管矢板周辺のフェーシングにひび割れが確認された場所があったが、一部は樹脂によって補修されていた。</u>	11時39分現在
7月5日	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備	<u>○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。</u>	9時24分現在
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	<u>○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて海水試料をポリビンに5本採取した。</u>	
7月6日	タービン建屋屋根雨水対策実施状況の確認	1、2号機タービン建屋東側	<u>○4m盤の地下水汲み上げ量抑制を目的とした対策として、1～4号機タービン建屋屋根雨水の排水経路変更が行われていることから、その実施状況について聞き取り及び現場確認を行った。</u> <u>暫定対策として、屋根面のガレキを撤去し、屋上を簡易防水して雨水の汚染を防止した上で、雨水を建屋の下に落とし、陸側遮水壁内の地面に浸透させ、サブドレンで汲み上げて処理するとのことであった。その後、抜本対策として、屋上を本設防水した後、雨水をK排水路に排水するとのことであった。</u> <u>現地調査したところ、1、2号機タービン建屋東側において、雨水排水経路が変更され、雨水を陸側遮水壁内の地面に浸透させており、暫定対策が終了していることを確認した。</u>	12時24分現在
7月7日	5・6号機滞留水処理装置(RO処理装置)取水槽からのコンテナ内溢水現場の確認	5・6号機増設滞留水処理装置(RO処理装置)(Fタンクエリア)	<u>○6月5日に発生した5・6号機滞留水処理装置前処理ユニットが設置されているコンテナ内の取水槽からの溢水事象について、東京電力からの聞き取り及び現場確認を行った。</u> <u>溢水の原因は、取水槽の液面計の汚れにより、浮き球が固着し、正常な水位を示さなかったため、誤って必要以上の水張りをしてしまい、溢水したとのことであった。</u> <u>対策として、液面計の点検清掃が行われていることを確認した。</u> <u>なお、今後は液面計のパイプを交換したり、手動で水張りをした場合でも高水位時に達した際は取水槽ポンプを自動停止させる機能を新たに付加するなど追加措置を行うとのことであった。</u>	11時26分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。